

日本薬学会北陸支部会特別講演会

新規鎮痛薬の評価と開発のために 知っておくべき最先端痛み科学

【講師】 加藤 総夫 教授

東京慈恵会医科大学
神経科学研究部
痛み脳科学センター長



【日時】 2020年1月30日（木）
17:00～18:00

【場所】 北陸大学 薬学キャンパス
アネックスファーム 3階 301A 講義室
(金沢市金川町ホ3番地 本部棟脇駐車場あり)

<http://www.hokuriku-u.ac.jp/about/campus/access.html>

現在、国際疼痛学会の痛みの定義、痛みの機序分類、そしてWHOの国際疾病分類の大きな改定が進められている。これらの改定は、痛みが、侵害受容の単純な結果として生じるのではなく、それによって生じる脳の活動、特に慢性痛ではその可塑的变化を背景とするという近年蓄積された知見に基づいている。慢性痛モデルの脳を解析した我々の非臨床研究の成果を紹介し、新規鎮痛薬の開発と評価にあたり動物の痛みと患者の痛みをどうtranslateすべきなのか、という問題にも触れてみたい。

学生にも分かりやすく痛みの最先端をお話しいただく予定です。皆様のご来聴をお待ちしております。

ご自由にご参加ください

連絡先：北陸大学薬学部 医療薬学講座 薬理学分野 松尾 由理
Tel 076-229-6193 E-mail: y-matsuo@hokuriku-u.ac.jp